

会報

野々市ロータリークラブ

明るく楽しく奉仕する

よいことの
ために
手を取りあおう

Rotary



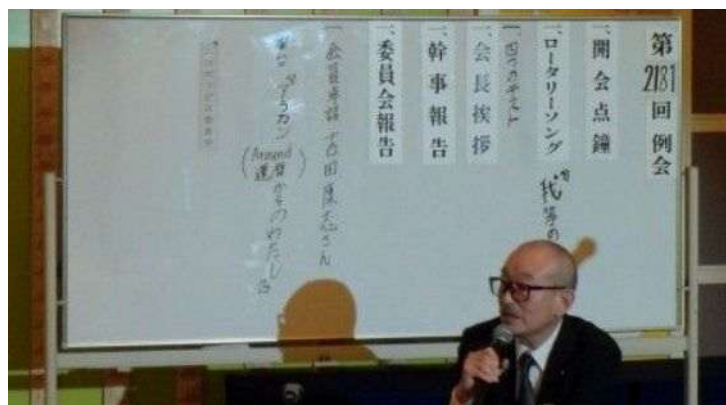
第2181回例会 金沢国際ホテル

2026年4月22日(水曜日)

卓話

■ 会員卓話 吉田 康志 さん

「アラカン（Around還暦）からのわたし」



食道がんステージ1と診断されて

- ・ 5年のうち10人に2人はがんで死ぬんだ。
- ・ 死がリアルなものとして感じられる。
- ・ 最低70歳までには次への世代交代を絶対しなきゃ
- ・ 会社の経営管理の仕方の変更プランを発表
- ・ 孫の20年後にじじいこんなこと言っとった。「これずーと心に残っとるげん」と思ってほしい。
- ・ 付度することをやめよう。

※ 卓話内容は別途添付資料をご覧ください。

会長あいさつ

■ 濱 順次 会長



皆さんこんにちは。私の会社ではバレーのPFUブルーキャッツ石川かほくのオフィシャルパートナーをさせていただいております。今年はレギュラーシーズンを3位で通過し、SVリーグチャンピオンシップで過去最高のベスト4（準決勝進出）の快挙を成し遂げました。監督にお会いする機会がございましたので、昨シーズンまでは10位だったチームがなぜ今年は3位になったかをお聞きした所、各選手の努力ももちろんの事、練習後に必ず選手同士が1対1で話をする時間を15分設けていらっしゃるそうです。それにより、コミュニケーションが深まりチームとしての結束力がさらに強くなったとおっしゃっていました。これは、私たちの会社経営にも繋がっているようにも思いますので、ぜひ参考にいただければと思います。

トピックス

■ 5/13(水)オープンロータリーについて

会員増強委員長 本田 英夫 さん

■ 森づくり同好会について

会長 松田 真一 さん





野々市RC会報

第2181回例会 金沢国際ホテル

2026年4月22日(水曜日)

ニコニコボックス

- 濱 順次 吉田さん卓話ありがとうございました！！皆様ゴールデンウィーク楽しくお過ごしください。
- 山口 武 吉田さん！！
卓話ありがとうございました！！
- 吉田康志 つたない卓話お願い致します。
- 大西由紀子 吉田さん会員卓話有難うございます。
貴重なお話、そして気づきをありがとうございます。
会員の皆さんに何でも頼ってください。そして教えて下さい。

山下裕之、宮森恒成、松尾博行、上田一治、澤田歩
本田英夫、松田真一、矢原憲雄、中山正信、下原学
竹澤勝志、織田英也、遠藤竜也、北潟克輔、黛孝彦
梅野智恵子 (順不同・敬称略)

計20件 合計26,500円

2025-26年度累計 1,209,000円

今週のお花

お花 スプレーカーネーション

花言葉 集団美・気持ちの高まり

原産地 南ヨーロッパ



ご購入者 上田さん、遠藤さん、織田さん
下原さん、松田さん

積立寄付金

■ 米山記念奨学会 特別寄付

濱順次、山口武、山下裕之

2025-26年度累計 389,000円

■ R財団 年次寄付

遠藤竜也、石澤康、中村俊昭、中山正信

2025-26年度累計 257,000円

■ R財団 ポリオ

下原学、山田真博、大西由紀子

2025-26年度累計 453,000円

(順不同・敬称略)

【今後の例会プログラム】

4/29 休会

5/6 休会

5/13 オープンロータリー

5/20 職場例会
スーパーオートバックス金沢店

幹事報告：山口武幹事 SAA：梅野智恵子 ニコニコボックス報告：山下裕之

■ 野々市ロータリークラブ事務局 ■

〒921-8821 石川県野々市市白山町8-15 (公社) 野々市市シルバー人材センター2F

アラカンからのわたし

株式会社エイム
吉田 康志

自己紹介

所属 株式会社エイム 現在 66 歳

1987年 株式会社エイム取締役

2006年 代表取締役社長就任

2014年 代表取締役会長就任(ロータリー入会)

2019年 取締役辞任(ロータリー退会)

2024年 代表取締役社長就任

2025年 ロータリー再入会

自己紹介

株式会社 エイム

現在 直営

フィットネスクラブ7店舗
石川6店舗 愛知1店舗

指定管理

管理施設8店舗

金沢市 白山市 加賀市
津幡町 内灘町

自己紹介

株式会社エイムインタービジョン(介護事業所)

2016年 介護事業(デイサービス)スタート

2019年 取締役辞任 デイサービス店舗5店舗

2024年 再代表取締役社長就任

2026年 現在デイサービス等11事業所運営

株式会社エイムトレーディング

2025年よりA型就労支援事業所事業開始

自己紹介

所属 株式会社エイム 現在 66 歳

- 1987年 株式会社エイム取締役
- 2006年 代表取締役社長就任
- 2014年 代表取締役会長就任(ロータリー入会)
- 2019年 取締役辞任(ロータリー退会)
- 2024年 代表取締役社長就任
- 2025年 ロータリー再入会

身体症状

- 足に力が入りにくい
- 歩く際に、足が柔らかく動かない
- テニスでだんだん動けなくなる。
- 歩いていると歩けなくなる。休むと復活する。
- 立てなくなる。休むと復活する
- おしっこを我慢しにくくなる

病気の原因がわかるまで4年かかった。



病名発覚

病名 脊髄硬膜動静脈瘻

脊髄を包む膜（硬膜）で動脈と静脈が直接つながり（短絡）、高い動脈圧が静脈に伝わることで脊髄のうっ血や浮腫を引き起こす疾患です。中年以降の男性に多く、下肢のしびれ、頑固な痛み、歩行障害、排尿・排便障害が慢性的に進行する特徴があります。早期治療が重要であり、主な治療法は血管内治療（塞栓術）や直達手術（開胸・開腹術）によるシャントの遮断です。

10万人に0.125人といわれている

社長就任後6か月で手術実施

発覚からのスケジュール

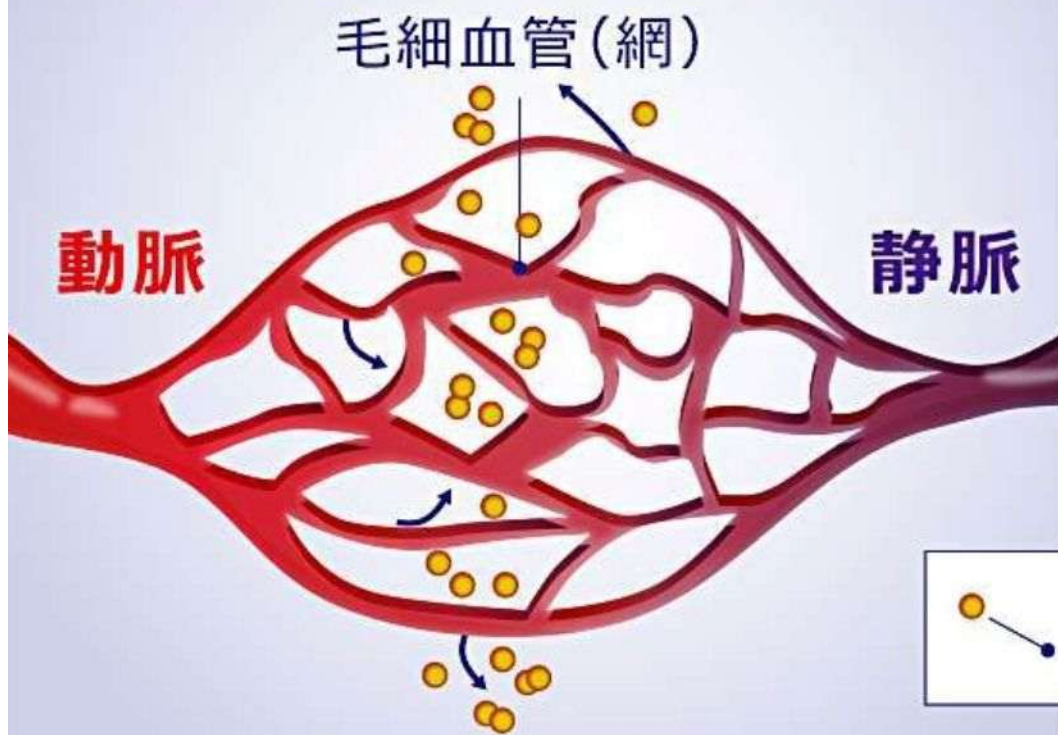
- ・ 24年10月下旬町の整形外科発見→
済生会病院確定診断
- ・ 11月初旬金沢大学病院紹介受診
- ・ 11月中旬瘻の場所確定の入院
- ・ 11月下旬手術 入院予定10日間
- ・ 手術後右足全く動かない、即時リハビリ
- ・ 12月中旬日赤転院
- ・ 25年2月初旬退院 入院期間2か月半

ALS筋萎縮性側索硬化症

この病気は進行性で、症状はだんだん進んでいきます。症状が体のどの部分の筋肉から始まっても、やがてはほかの部分の筋肉も侵され、呼吸の筋肉（呼吸筋）も働かなくなり、大多数の方は自力で呼吸をすることが困難となります。人工呼吸器を使わない場合、病気になってから死亡までの期間はおおよそ2～5年です。なかには人工呼吸器を使わずに10年以上にわたってゆっくり進行する例もある一方、1年ほどの速い経過で呼吸不全となる例もあります。

(10万人で2.2人)

通常の毛細血管床



動静脈奇形



● 酸素



手術のリスク

① 手術中、手術後の脊髄梗塞

動静脈瘻の塞栓に成功しても、そこへ向かう異常血管の血栓化により治療終了後に正常の動脈まで詰まってしまう、脊髄梗塞が生じて麻痺・膀胱直腸障害が生じる

② 脊髄出血

カテーテルにより脊髄の血管の損傷により脊髄内出血意識障害や手足のまひ神経症状、生命に危険が及ぶことがある。

現状

脊髄障害の後遺症

- ・ 右足の感覚異常
痺れ・位置覚障害
- ・ 右足の痙縮
筋肉の異常緊張・足のツツパリ感
- ・ 左足の痺れ
- ・ 軽い排尿・排便障害

食道がん

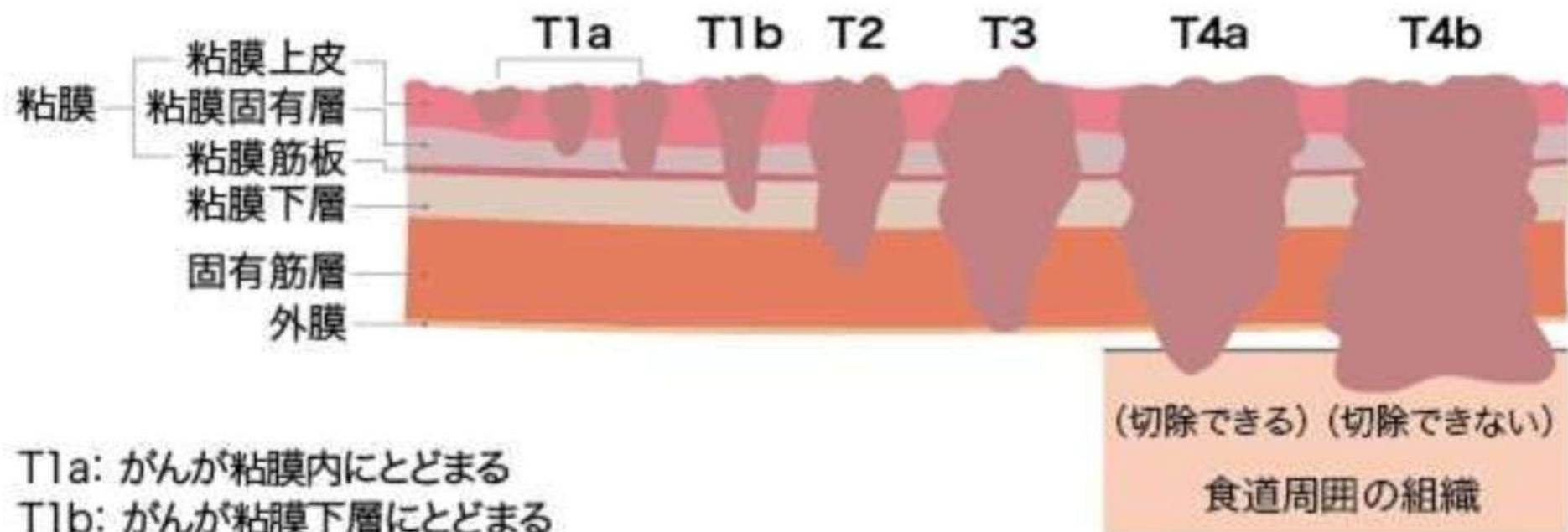
食道がんは、食道の粘膜から発生する悪性腫瘍で、特に飲酒と喫煙がリスク要因です。主に50代以降の男性に多く、早期は無症状ですが、進行すると「飲食物のつかえ感」や「胸の違和感」が現れます。早期発見できれば内視鏡治療で治癒可能ですが、転移しやすい。

食道がん ステージ1

食道がんのステージ1は、がんが粘膜下層にとどまり、リンパ節転移がない状態です。5年生存率は約75-85%と高く、主に手術や内視鏡的切除、あるいは化学放射線療法（抗がん剤＋放射線）で治癒が期待できます。症状はのどのつかえや不快感です。

食道がんステージ1の対処

- ・ 内視鏡で腫瘍の除去
 - ・ 骨・肺・リンパ節への細胞レベルの転移の可能性
 - ・ 食道を切除し胃と喉をつなぐ
 - ・ 抗がん剤と放射線治療
 - ・ 抗がん剤4日間×2投与と放射線24回を選択
- 選択は患者



T1a: がんが粘膜内にとどまる

T1b: がんが粘膜下層にとどまる

T2 : がんが固有筋層にとどまる

T3 : がんが食道外膜に広がっている

T4a: がんが食道周囲の組織まで広がっているが、切除できる(胸膜、心膜、横隔膜など)

T4b: がんが食道周囲の組織まで広がっていて、切除できない(大動脈[大血管]、気管、気管支など)

発覚からのスケジュール

- 8月下旬内視鏡検査
- 9月初旬組織検査結果がんの診断
- 10月内視鏡でのがん摘出手術
- 10月中旬-11月初旬手術か化学療法か選択を求められる
- 11月中旬化学療法 入院8日
- 12月中旬再度化学療法 入院
- 初回入院から24回放射線治療 クリスマスまで継続
- 現在は6か月ごとの内視鏡とCTでの転移・再発の確認

病気になって

ALSかもしれないと思って

- 社長になって3か月でALSと診断かも。会社どうしよう。
- 家族にどの程度世話になっていこうか？
- 子供と孫に何を残そうか？

脊髄硬膜動静脈瘻という病名を聞いて

- ・ 死なないんだ
- ・ 10日入院が . . .
- ・ 術後右足が動かない。右足親指が動くことが確認。多分歩ける
- ・ リハビリすごく頑張りました

脊髄硬膜動静脈瘻の後遺症が残って

- ありのまま自分でいこう。無理をしない。
- 自分にできることをしよう。
- できないことはお願いしよう。
- 「ありがとう」と感謝を伝えよう
- 自分は「かわいそうな人」ではない
- 杖歩行で回りの気配りが多いことに気づく

食道がんステージ1と診断されて

- 5年のうち10人に2人はがんで死ぬんだ。
- 死がリアルなものとして感じられる。
- 最低70歳までには次への世代交代を絶対しなきゃ
- 会社の経営管理の仕方の変更プランを発表
- 孫の20年後にじじこんなこと言っと思った。「これずーと心に残っとるげん」と思ってほしい。
- 忖度することをやめよう。

以上です。
ご清聴ありがとうございました！

話すコメント

2 ページ自己紹介

現在 66 歳。2019 年創業者の父と意見の相違が原因で辞任しました。2020 年度の幹事予定者でしたので、準備をある程度整えている中での突然のロータリーの退会ということで、会長**予定者織部さんや、突然会長となった西村さん、突然幹事となった宮森さんはじめ皆さん**に大変ご迷惑をおかけいたしました。大変申し訳ございませんでした。

3 ページ目自己紹介

フィットネスクラブだけでなく、自治体が所有する施設の管理運営を行っています。今年度から運営施設が 1 か所増加し直営 7 施設、指定管理 8 施設の **15 施設を運営管理**しています。

4 ページ目自己紹介

別会社でデイサービスを中心に**介護施設 11 か所**の運営を行っています。2024 年に 1 施設開設、2025 年に M&A を 2 社行い 3 施設(別事業で 1 事業所プラス)行いました。また、2025 年に新規事業として別会社で就労支援事業所を開業いたしました。就労支援事業所とは、障害がある方に対し、働く場の提供や働き方の支援をする事業です。

5 ページ目自己紹介ー6 ページ目身体症状

19 年会社を辞めて何をしていたかという週 4-5 回 1 回あたり 3 時間のテニスをしていました。冬もインドアのテニスコートでみっちり仕事のようにしていました。21 年ごろから動きが鈍くなってきておかしいなと思っていたら、だんだん悪化しそのうちテニスをしていたら膝を曲げていられなくなってきて、そのうち歩けなくなってきてということが 2024 年から何回か発生しました。これはいよいよおかしいと医療機関で検査したのが原因がわかりませんでした。自分では ALS(筋萎縮性側索硬化症)だと思い、近々歩けなくなり、そのうち言葉も話せなくなり、呼吸筋が止まり、息絶えるのだろうなんて考えるようになりました。

そうしているうちにますます悪くなり、一度立てなくなるということがありました。いよいよ日常生活に支障が出てきていろいろ検査の結果 4 年越しで一昨年 10 月病名が判明しました。**「脊髄硬膜動静脈瘻」**という聞いたことのない病気でした。社長復帰し半年でのことでした。病名を聞いて、ALS と思っていたので**「すぐには死なないんだ」**と思いました。

7 ページ目病名発覚

脊髄硬膜動静脈瘻とは、脊髄に酸素や栄養を送る動脈が静脈とくっついている(ショートカ

ット)血管異常となった病気です。動脈の血液が脊髄に行く前に、静脈のほうに流れるため脊髄には血液が流れにくくなる病気です。その結果足に力が入らないという症状が出ていました。放置すると症状は悪化します。この病気は 10 万人に 0.125 人という大変珍しい病気のようなのです。

治療はうつぶせになって顕微鏡下で脊髄の中の血管のくっついている血管を切り離すか、太ももの付け根からカテーテルを挿入し、血管異常の個所を処置します。私は後者の治療(手術)を行いました。全身麻酔で 6 時間ぐらいの手術でした。術後に主治医から「無事終了しました。足動きますか」と麻酔から半覚醒の状態で聞かれ、確認もせず「はい動きます」と答えたものの、完全覚醒後に**右足の感覚がなく、足がどこにあるかもわからず、動かそうとしても動かない**ことがわかりすぐにナースコールを押しました。執刀医全員集合し処置をしていただきました。その際全く動かないのではなく、努力したら**右足の親指が 1 c m ぐらい動くことが確認**しました。1 センチ動くことがわかった際に「リハビリがんばったら足が動くようになるな」と変な確信を持ったことを思い出します。実際は動くようにはなったのですが、足は痺れっぱなしでかつ思うように動かない状態となっています。

9 ページ ALS かも

足に力がだんだん入らなくなってきたいろいろな調べてみたら ALS かと思いました。ALS とは、れいわ新選組の参議院議員の船後さんが車いすの状態で、国会で質問をしている放映を見たことがあるかと思います。船後議員はもうすでにしゃべられなくなっている状態ですが、少しずつ全身の筋肉の力が入らなくなってくる病気で、最後は呼吸ができなくなって亡くなります。自分はこの病気かと思い、今から「**残りの人生何をすべきか**」みたいなことを考えました。ALS は治る見込みがない病気で「会社の今後のこと」「家族のこと」「自分の残り」などを考えました。

12 ページ 手術のリスク

脊髄硬膜動静脈瘻の手術をする前にリスクの説明がありました。盲腸の手術だってリスク説明があるのだから当たり前です。盲腸の手術と同じぐらいの気持ちで、リスク説明の話を聞いていたのであまり覚えていませんでしたが、足が動かなくなってから精読したら、自分の現在の症状になるリスクが記載されていました。私は体操のひろみちお兄さんが突然発症した「**脊髄梗塞**」になったようです。

13 ページ 現状

一番生活に支障があるのは足の痙縮です。痙縮とは筋肉が絶えず緊張(力が入ったまま)していて、歩くと足が突っ張った状態となって歩かないといけなことが、歩くことを不都合としています。また、軽いながらも排便・排尿障害があります。なじみのない場所へ行ったときに、トイレはどこだとか、突然便意がきたら困るなど、軽くても排尿・排便障害は生活に

支障があります。

14・15 ページ 食道がん

昨年8月たまたま腸の不調のため大腸カメラを近くの医院で受診する申し込みをしたら、どうせ絶食するので、ついでに胃カメラもやったらどうかと勧められ胃カメラも受診することにしました。腸も胃も正常でしたが、食道に異常なものがあるので組織検査したところ、**食道がんが見つかりました**。社長就任し1年3か月後のことです。早速内視鏡で除去手術を行い、がんが組織の中にどのくらい浸潤しているかの検査を行ったところ、**食道がんステージ1**ということがわかりました。食道がんはリンパ節、骨に転移しやすく、ステージ1では現状転移が見られないものの、転移の可能性があるのでフォローの処置をしたほうが良いと説明されました。

- ① 転移のある可能性のものを除去するため食道全摘出とその周りのリンパ節全摘出という外科的手術を行い、胃を持ち上げ喉と直接つなぐ手術
 - ② 抗がん剤投与と転移の可能性のある個所の放射性放射の治療を2か月間ぐらい行う
- どちらかを患者に選択させるという場面に当たりました。はっきり言ってどちらもいやですが、しないと転移の可能性が高まるということです。どっちの5年生存率が高いですかと主治医に聞いたところ、論文をだしてきて、「どっちも80%や」という答えでしたので、切らないほうの抗がん剤投与、放射線放射の治療を選択しました。でも**10人に2人は5年以内で食道がんで死ぬ**ということです。抗がん剤はひどいものだ聞いていましたが、私にはさほど副作用はなく下痢ぐらいで思っていたほどではなかったです。

19 ページ 病気になって

その通りです

20 ページ 後遺症が残って

自分でできることは自分でしよう、できないことは人に頼もう。ということをいまで以上にするようになりました。そして、お願いしたことをやってもらったら「**ありがとう**」という感謝を伝えていこうと思うようになりました。また、杖歩行をしているといろいろな方から気配りをしていただくことに気づきました。杖を落としたら拾ってもらえたり、狭いところを通ろうとしたら、道を譲っていただいたり、すごく周りの方からちょっとした気配りをしていただけることに気づかされます。「**ああ日本は気配りの社会だな。ありがたいな**」と思います。

また、今までできていたことができないことは、本当に残念ですがそれを受け入れていこう。そして自分らしく楽しんで笑顔で人生を謳歌しようと考えています。